

肅感の訓練が出来るのである。

殊に、皇室に對し奉る作法の如き、幼兒にも、その正しさと、つゝまじさを破らしてはならない。御眞影拜賀の場合も勿論、國歌齊唱の作法、遙拜の敬禮、一點の不法法をゆるしてはならない。それが出来ないとならば、式にしない方が却つていい。

第二は靜肅である。言葉を發しないこと、四肢を濫りに動かさないこと、殊に失笑をしないこと、況んや騒然たらぬこと。之れは式場に入る始めから、式場を去り終るまで、守られなければならない。

第三は立坐の行動である。立つ時は一齊に、坐する時は一齊に、決して勝手をゆるさない。斯うした行儀作法は、平生と雖も練習せられる必要があるが、式こそその最も大切な日である。この爲には式に先立つて豫行練習をすることが必要であり、習熟させるどころに、訓練の大きな効果さへある。式は必ず豫行演習をしなければならぬ。謂はゞ、それが式の式たる重んじ方にもなるのである。

第四は整頓である。之れ亦平素の訓練の中にあることであるが、式場に於て一段ときちんと行はなければならない。行進の列、着席の列、一切亂雜をゆるしてはならない。

以上、幼兒として、むづかしい要求のようにも思はれるかも知れないが、斯くてこそ式であり、式にする訓練でもある。又、少くも二年保育からは、一通りのことば、出来るのである。

式は形であるが、その形こそ言葉でいへないもの、説明で與へ得ないものを與へ得るのである。その意味で、式こそ心もちである。形だけの形では決してない。外部の齊整ではあるが、それが實は内部の訓練になつてゐるのである。又、それだからこそ、外部の一つ一つの形をもゆるがせに出来ないものである。即ち式こそ、形から内への途であるが、幼兒にも分る程度に於て、その式の意味を諒めよく傳へられなければならぬ。たゞ何んのことだか分らない式では、眞の訓練にはなり得ない。たゞ、それだけでは出来ない訓練が、式の形となつてゐるのもある。

自由遊戯

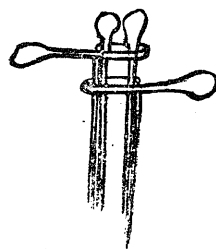
上 遠 文 子

木々も紅葉して、あたりの自然の美しさに私達も今更の様にうつりさせられます。

紅葉と子供 落葉と子供 はら／＼と散る落葉をかきあつめてマ、ゴトの御馳走に、子供達はゆく秋をまた楽しいものにしてあそびたわむれてゐます。自と自然に取まかれ又、引つけられる此頃は 落葉等での遊びに心引かれるものです。

むかで、龜の子作り。先づ百足。これは藤の葉柄の落ちたもので作ります。夏頃より風の強い日などはぼつ／＼落ちてゐますが、やはり此頃のものはずつかり枯れて作り易くなつております。作り方は左圖をこら入下さい。はじめ二本そろへます。互ひ違ひにこの様にして編んでゆきます。圖は解り易い様子を離しましたが

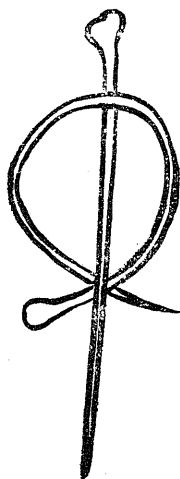
もつとつめて、きちんと作るよるしい。どんく連げて長くす



ると大喜び、仲々面白いものが出来上ります。次に龜の子。これは材料は種々あり、藤の葉柄、蔦の葉柄、松葉等で作る事が出来ます。

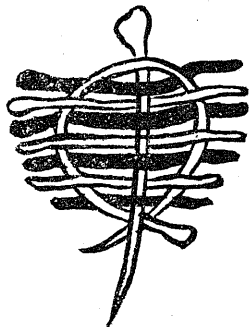
始め先づ上圖の様に組立てます。

互ひ違ひに、圓一杯編込みます。



出来上りましたらまはりを恰好よく切ります。

二つとも簡單な作り方ですので年長組の方は一人でつくつて遊ぶ事が出来きます。小さいもの、大きいもの、種々作り子供達は又此處にも想像の世界で楽しく



遊びます。

木の葉の草履 もう一つ。あちさい、柿の葉等を用ひます。作り方は簡單で二つ折にし缺で桌緒の所を切込み入れ片方に切込みを入れさし込めばよろしいのです。おま、ゴト等に子供達は目先の變つた考案を喜んでくれるせう。

まゝごと 年少組でも大分おま、ゴトも上手に遊べる様になり

キリコミ

キリコミ



ました。そろそろ先生中心を幼児中心に移してみませう。先生より上手にやつてくれるかもしれません。

夏時分、日照でお野菜に乏しかったのに此頃はとても豊富、赤黄、緑、様々の落葉の御馳走がお膳を賑はしてくれます。おまゝごとも一入楽しいものになりました。

人形芝居遊び 保育案にこんな遊びがのつておりました。何よりもく楽しくうれし事の一つ先生方のやつて下さる人形芝居。皆も樂屋裏へ行つて人形を引ばり出してやつてみたたくてたまりません。その人形をつかつてやつても勿論よろしいですが、誘導的に皆で道具を共同製作したら如何でせう。お人形、附屬品、

背景、皆自分達の苦心の作だつたら尙々楽しさは増す事と思ひます。お人形等は相當先生の手を加へねばならぬ事とせう。

臺詞等も各自考へたものゝ方が樂で又面白い事と思ひます。完成した暁には、〇〇座を開放し他の組の方をおまねきしたり、お芝居ごつこが賑かに展開されるでせう。

押くらまんじゆう 朝ちよつと冷える事があり、寒がりやさんはもう肩をすくめて寒がつてゐるかもしれません。そんな人は引つぱり出して押くらまんじゆうをやりませう。

少人数ではおもしろくありませんから少くも七八人それ以上多いのは何人でも結構です多ければ多い程面白いでせう。人数に相當したあまり廣くない圓を畫いておきます。その中に皆後向に兩手を組み背中に突合せにまゝくんだり坐ります。立てや立てや、しやがめやしやがめで、たつたり、すわつたりするのですが、兩手を組んでゐますから仲々自由にゆきません。自然と足でつゝぱり背中で押す様になりますので、ともすると圓の外に押出されてしまひます。圓の外に足一歩でも出ると、ぬかされます又、立つ時に立てなかつたりする人もぬかされます。そして次第に人数を減してゆくのです。寒がつてちよこまつてゐた人も汗びつしよりになつてしまひます。

輪なげ 兩がしとく降る様な時、お部屋で輪なげはどうでせう。この輪投げは簡単な一本の柱に輪を投げ込むのです。投げ込めた数を黒板なり、紙なりに書いて點をとつてしてみませう。大きい方は距離で調節したらよろしいでせう。

幅飛び お砂場の淵からピョンと飛んでみました。かうした體鍊遊戲も今の時代には是非と要求されてゐます。駈出してきてとんだり唯、飛んだり。先生は一人々々の距離をはかり出來ぬものは普通の標準の所にまで伸ばしてやる様にし、身體の鍊成と共に精神の鍊成も致し度と思ひます。この時特に注意せねばならぬ事は、何時も先生の監督のある事。砂場は石など決してない様綺麗にならしておく事でありませう。

落葉あつめ お庭を散歩してみると綺麗に色づけされた葉が澤山おちてゐます。特に綺麗な葉を集めてみませう。いちよう、もみち、つた、何ともいへぬその色にびつくりさせられます。あつめた葉はお畫がきにかいてみたり、又おし葉にしてみませう。新聞紙にはさみ、御本を少し澤山のせておくで一週間もすると美しく出來上ります。出來上つた葉はお帳面に張つておいてもよろしいでせう。秋の紅葉の美しさを保存でき何となくうれいものがあります。

遊 戲

古 澤 静 子

もうこの頃では、全體の中に自分をおく雰圍氣になれ、見ても、随分全體が揃つて行動出來る様になつて参ります。

遊戲の効果は、やはりある程度、正確な動作によらなければならぬと思ひます。

雀の遊戲で、羽を動かす際には、兩手をよく伸ばして横に擧げ